



新年明けまして
おめでとうございます。



年頭にあたって

新年あけましておめでとうございます。

昨年は全体としては売り上げを伸ばし、鹿教湯市を成功させるなど大きな成果をあげた年でした。

しかし、天候にも苦労させられ、年末のデフレ傾向もあり、感覚的には「厳しい年だった」という実感があります。そんな厳しい環境の中でも健闘できたのは、出荷者の皆様の奮闘以外のなにものでもありません。心より感謝申し上げます。

茅野市で教わったこと

昨年、年も押し迫った頃、茅野市の農業支援センターから「あさつゆの話をしてほしい」との要請があり、年末の24日、茅野市役所で話をする機会がありました。茅野市については、今までそれ程意識的に考えたことはありませんでしたが、今回茅野市を勉強するいい機会にもなりました。

「茅野市はこんなに標高の高いところだったのか」というのが最初の驚きでした。耕地が780m地帯から始まり、主要な農地は800mから900m地帯とのことで、思わず「すごいところで農業をやっているんですね」との言葉しか出ませんでした。というのは、丸子地域では、鹿教湯温泉のあるところが700m前半の地帯ですし、鹿教湯三才山病院が標高850mの所にあります。茅野市で農業をやるのは、私たちの地域では三才山病院周辺で農業をやっているような感じです。

茅野市では市長さんや、市議員、大勢の直売関係者などが熱心にあさつゆの話を聞いてくれました。思えば私たちは、あさつゆが発足した時、「いずれはあさつゆを県下で有数の直売所にしたい」との抱負をもって事業をすすめてきました。それから5年、お陰様で、あさつゆは県下でも注目される直売所に成長してきました。この間の生産者や職員の皆さんの努力を思うとき、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

しかし、今回は茅野市の皆さんにも感謝したいと思います。あれだけ寒い中でも頑張って農業をやり、あらたな直売事業を切り開こうとしている皆さんの熱意を目の当たりにし、逆にこちらの方が勇氣と言いますかやる気ももらいました。「私たちは自然環境に恵まれている。頑張る余地はまだまだあるはず。もっともっと前進できるはずだ」と。

原点に立ち返り大きな飛躍を準備する年に

「美味しくて、新鮮で、安全なものをより多くの消費者に」という原点に立ち返り、「大きな事業も、小さなことの積み重ね」との心構えで、あさつゆの新たな年を切り開きたいと思います。

あさつゆの強みは、一人一人の皆さんの創意と工夫です。200人以上の出荷者の創意や工夫の力は、想像をこえた巨大なもので、そこから何が生まれてくるか予想することはできません。その予想を超えたところにあさつゆの魅力があります。

今年あさつゆは、皆さんの創意が一層発揮できる環境づくりをすすめるために過去の取り組みを検証し、必要な改革をすすめることになるでしょう。本年が皆様にとってよりよい充実した年であることを心よりご祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。



平成 22年 元旦
あさつゆ運営組合長 伊藤良夫

野菜の作業

種まき	栽培管理のポイント
<p>ハウス育苗型春レタス ・標高 500m で 4 月下旬～5 月上旬頃に収穫する作型では今月が播種期です。</p> <p>冬まきパセリー ・播種後十分に灌水をし、温度を 20 前後で管理。(25 以上にしない) ・発芽後は日中 20 夜間 10 を目安に管理。 ・本葉 3 ～ 4 枚で間引きをします。</p>	<p>・冬期間のハウス栽培における「炭酸ガス」の活用 冬期間も、ハウスなどの施設を使い少しでも長期的・安定的に出荷したいと努力している方が年々増加しています。この時期のハウス管理としては、温度・湿度に加えて光や養水分の管理は言うまでもありませんが、今回は、上記の要素に加え「炭酸ガス」の重要性について紹介します。</p> <p>施設栽培の先進国であるオランダのトマト栽培などでは「炭酸ガス施用なしにはトマト栽培はできない」と言うほど、炭酸ガスの制御は収量に大きく影響するそうです。この場合、積極的に炭酸ガスをハウス内に施用し、濃度を上げ光合成を促進させるという方法も行っているそうです。</p> <p>ご存知のとおり、植物は、日中は二酸化炭素を吸収し光合成を行い、夜間は動物と同様に呼吸し、二酸化炭素を吐き出します。このことから、ハウス内の炭酸ガス濃度は、明け方が最も濃い状態であることが推測されます。</p> <p>そこで、この濃度の高まった炭酸ガスを活用するといった観点での被覆材の開閉や換気等の管理を行うのが大切と思われます。</p> <p>それは、ハウス内の温度の上昇状況を見ながらではありますが、日が差してきたからといって一気にハウスを解放するのではなく、ハウス内のトンネルやカーテンなどの被覆資材の除去などから行い、炭酸ガスを活かすため早い時間から光合成を促進させるよう管理するもので、参考にしてはいかがでしょうか。</p>



農業豆知識



野菜の作型別の品種と特性（JAの推進品種から）

（ほうれんそう）

「タキシードセブン」（ハウス、露地に使え、早春出荷・夏秋冬出荷に適する品種）

極立性・低温伸長性品種、濃緑、肉厚で光沢のある葉幅の広い葉重型、べト病(レ-7まで)抵抗性あり。

（きゅうり）

「大望」（、の品種あり。露地の普通・抑制のどの作型にも適応した品種）

果色・光沢よく、果揃・果形の乱れすくない。高温乾燥下でも萎れにくくウド病・カッ病等に強い。

（トマト）

「桃太郎ファイト」（ハウス半促成、夏秋雨よけ、ハウス抑制など広い作型に対応できる品種）

糖度が高く食味よい、果実も硬く完熟出荷に適する早生種で作りやすい、青枯病に強い、

（はくさい）

「優黄」（寒冷地：3 / 下～5 下定植、5 / 下～7 / 中収穫、5 / 下～6 / 中播種、7 / 中～下収穫等）

球内色良好な晩抽早生種、立性で球揃いがよく砲弾形。根こぶ病、ウイルス病、軟腐病などに強い。

「黄ごころ65」（寒冷地：7 / 下～8 / 下定植、9 / 中～11 / 下収穫等の作型向き）

葉色・球内色濃い黄芯系で中太りタイプ、根こぶ病、ウイルス病、軟腐病に強い。

（キャベツ）

「Y R S E」（400～600m地帯：主に4 / 上～4 / 下播種、6 / 上～7 / 上収穫の作型向き）

葉質が柔らかで食味に優れる。球肥大後半の生育が早い。S Eに萎黄病抵抗性を付与した品種。

「新藍」（高冷地及び冷涼地帯：4 / 中～6 / 中播種、7 / 中～10 / 下収穫等の作型向き）

みずみずしく甘味が強く、肉質はしっかりしているが食感はややめらか。黒腐病、根こぶ病等の耐病性有り。

（レタス）

「パトリオット」（早春～夏、秋播きできる早生晩抽性品種）

鮮緑色の厚肉葉で玉しまり良く食味も良い、根張り良く耐暑性・耐寒性や腐敗性病害に強く作りやすい。

（ブロッコリー）

「ピクセル」（高冷地及び冷涼地帯：3 / 上～7 / 中播種、6 / 中～10 / 下収穫等の作型向き）

春まき、夏まきができる適応性が広く、播種後90日前後でできる早生種、花蕾は大型で豊円、収穫期揃う。

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター
地域係 中澤普及員（25-7156）